

活性化モデル商店街の概要

商店街名：大府市商工会議所

●キャッチフレーズ

大府らしさを活かした賑わいづくり

●活性化モデル商店街としてのモデル性

大府 de まち歩き事業を中心に、個店と市民との交流（絆）を深め、賑わいのある街を目指す！

◎商店街の将来ビジョン

確実な人口増によって大府市は活力があり、年間小売販売額も増加しているが、事業所数の減少、特に小規模商店の衰退により、子供の成長に必要な「街の文化」の機能低下が予測されたため、意欲ある個店が力をつけ魅力を創出することを目的に、大府商工会議所商業部会が中心となり一店逸品・逸サービス運動が平成 20 年度から開始された。

ほとんどの店主から評価され、着実に成果も上がっている運動であるが、売上げの増が十分でなく、さらなる新施策の導入が急務となっている。このため商品づくりと合わせて、「客との絆づくり・交流」をキーワードとして運動を拡大する。

- 1 店と市民・店と地域外消費者との交流人口を増やす。
- 2 店と店との交流・連携を深め互いにレベルアップする。
- 3 地域資源のウェルネスバレー構想と連動した街のブランド商品の開発・販売を促進する。
- 4 賑わいのある街づくりの核となる若手人材を育成する。
- 5 これらの運動と情報発信を通して、全国的知名度のある街とする。

◎具体的に取組む事業内容

○個性・魅力の創出事業（25 年度～27 年度）

- ・ 大府 de 街歩きスタンプハイキングの実施
- ・ ふれあいゼミナールの実施
- ・ 店コラボ企画の実施
- ・ 人の回遊を目的としたイベントの活発化
- ・ 大府あきんど塾の開催
- ・ 共同DM発送の実施
- ・ 情報発信
- ・ エコキャップの回収などのエコ活動の実施
- ・ 地域資源を活用した健康逸品の開発・販売